

試験操業追加検討種のモニタリング結果（2014年2月 福島県水産試験場）

イシカワシラウオはこれまで放射性セシウムの基準値 100Bq/kg を超えた例はなく、2014年漁期についてはほとんどの検体が不検出で、最大でも 12Bq/kg であった。

コウナゴは事故直後には放射性セシウムが 14400Bq/kg の極めて高い値が検出されたが、その後速やかに低下し、2012年漁期には多くの検体で不検出となり、2013年漁期には検査した全ての検体で不検出となった。

表 イシカワシラウオとコウナゴのモニタリング結果

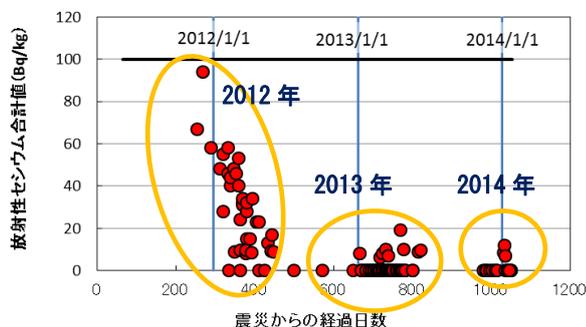
魚種・海域	2011年漁期				2012年漁期				2013年漁期				2014年漁期			
	検査回数	不検出回数	最大値 (Bq/kg)	平均値 (Bq/kg)	検査回数	不検出回数	最大値 (Bq/kg)	平均値 (Bq/kg)	検査回数	不検出回数	最大値 (Bq/kg)	平均値 (Bq/kg)	検査回数	不検出回数	最大値 (Bq/kg)	平均値 (Bq/kg)
イシカワシラウオ いわき 相双					23	0	94	41.9	10	9	8.1	0.8	19	16	12	1.5
					15	4	24	9.7	82	74	19	1.0	9	8	9	1.0
コウナゴ いわき 相双	11	0	14400	3,500	26	19	10	2.2	11	11	ND	ND				
					17	16	21	1.2	55	55	ND	ND				

※数値は134Csと137Csの合計値
平均値は不検出を0として計算した。

表 スケトウダラの放射性セシウム検査結果

平成23年4月～平成26年2月3日

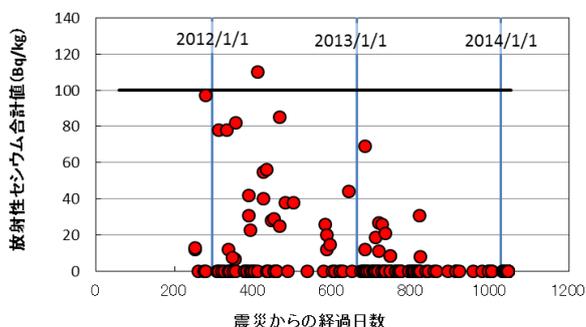
魚種	トータル			H25.1～			直近3ヶ月(H25.11.1～)		
	検査回数	不検出回数	最大値	検査回数	不検出回数	最大値	検査回数	不検出回数	最大値
スケトウダラ	166	128	110	100	89	69	26	26	ND



イシカワシラウオ



コウナゴ



スケトウダラ

スケトウダラの放射性セシウム濃度は、100Bq/kg を超えたのは1回のみ。
2013年6月11日に8.1Bq/kg が検出された後は全て不検出となっている。

図 放射性セシウム濃度の推移